

—関連施設だより—

首都圏における医療過疎地域の中核病院として

塩田 吉宣

医療法人 SHIODA 塩田病院

As a Central Hospital of Medical Depopulation Area in the Capital Region

Yoshinobu Shioda

Shioda Hospital and Shioda Memorial Hospital

当院は昭和 21 年、千葉県勝浦市に設立され、以来当地の中核をなす病院として開業を続けること当年 71 年目にあたります。

勝浦市は外房沿岸に位置し、勝浦漁港を擁する気候温暖な観光地です。釣りやサーフィンのほか、周辺にはゴルフ場も多く、アクアライン圏央道の開通により都心からのアクセスは車でも約一時間半と絶好のリゾート地となりましたが、一方で地域の高齢化が進み、さらに首都圏にありながらも医療過疎地域と言わざるを得ない現状です。

そんな中、当院は勝浦市夷隅郡地区の中核病院として二次救急輪番の 82% を担っており、残りの 18% を公的機関である夷隅医療センターとほかの病院で補っています。また隣接する茂原長生地区の二次救急輪番に欠番が出た時期は当院がその 30% の日数を負担していたこともあります。現在は長生郡長柄町に私どもの分院の塩田記念病院が設立され、茂原長生地区の医療にも一役買っております。

塩田病院本院は、298 床の急性期病院で、22 科を標榜しております。365 日 24 時間体制で救急を受け入れておりますが夜間医療の多くは日本医大消化器外科の若手の先生方の力に負うところが大きく、それを常勤の外科医、神経内科医、脳外科医のオンコール態勢で補強している状況です。外科医は常勤医 5 名で消化器手術全般、腹腔鏡下手術、内視鏡手術まで幅広く行っていますが、主任教授の内田英二先生をはじめ外科の先生方には大変お世話になっております。



連絡先：塩田吉宣 〒299-5235 千葉県勝浦市出水 1221 医療法人 SHIODA 塩田病院

URL：http://www.shioda.or.jp

E-mail：info@shioda.or.jp

Journal Website (http://www2.nms.ac.jp/jmanms/)

内科は常勤医6名、中でも神経内科は脳外科（昭和大学2名）の協力のもと、当院脳卒中センターを立ち上げ、主任教授木村和美先生、野村部長のご尽力のもと、脳梗塞の優れた治療成績で地域から信頼を受けています。肝臓内科では外科との連携でラジオ波の治療件数を増やし、サイバーナイフも使用し、良好な肝癌の治療成績を挙げています。

泌尿器科は主任教授近藤幸尋先生ご指導のもと高度な手術を積極的に行い外科との共同で患者さん管理に当たっており、整形外科は東海大学からの常勤医2名を含む計3名で手術にあたり、リハビリテーション科スタッフ30名と強い協力体制をとっています。

分院の塩田記念病院は115床を有し、青柳院長（医科歯科大学、脳神経外科）塩田匡宣副院長（慶応大、整形外科）中津循環器センター長（東大）、遠藤名誉院長（千葉大、婦人科）と学閥にとらわれない和やかな雰囲気 of 病院です。開院当初から県内初となるサイバーナイフや3テスラーMRIを導入し、屋上にヘリポートを完備しております。車で1分ほどの近いところに圏央道のスマートインターが建設中で、都心からのアクセスも楽に一時間を切ることになりそうです。このほかに関連施設として100床の老人保健施設、50床の特別養護老人施設、50床の経費老人ホームなどがあります。

私共医療法人SHIODAは、私で現在三代目の院長を務めさせていただいておりますが、私が本学卒業、第一外科出身ということで現在、日本医科大学との関係を緊密にさせていただいております。大変ありがたく存じます。

都心に近接した医療過疎地域に充実した医療を提供し地域医療に貢献することをめざし、これからも母校日本医科大学の先生方のお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

（受付：2017年4月28日）